

# 新たなリスクに備えたBCP再構築

## 論文の主旨

新型コロナウイルスは確実に感染拡大しており、スペインやフランスでは第2波が到来し、再び外出が規制されている。一方、経済面では、国際通貨基金は、6月に今年の世界のGDPの見通しを-4.9%と公表している。この値はリーマンショック以上の落ち込みで、100年前の世界恐慌以来の大不況になると考えられる。

この厳しい状況の中で、新たな経営課題が顕在化した。一つは、多くの企業でBCP(事業継続計画: Business Continuity Plan)が整備できていないうえに、感染症対策が必要になった。もう一つは、感染症対策やコスト削減に必要なIT技術の活用、言い換えるとDXデジタル・トランスフォーメーション(デジタル革命)が進んでいない。この2つの課題とも、中小企業が大企業に比べ大幅に遅れている傾向がうかがえる。

BCPを構築できない理由は、構築方法がよくわからない、工数が掛かる、効果が不明と言う意見が多い。そこで、BCPの構築で以下の対応を推奨する。

- (1) BCPの作成を防災と事業継続で分割することで、防災部分は都道府県等のBCPモデルを活用し、作成工数の低減を図る。さらに、事業継続計画では重要製品の生産を維持するために必要となるリソースに限定して対応策を考えることで、検討範囲が明確になり、検討がしやすくなる。
- (2) 事業継続計画は、リスク低減に合わせ、コスト削減にも有効な対策を活用することで、コスト低減効果を認識できる。
- (3) リスク低減に有効なコスト削減事例を示す。
  - ・調達：ABC分析を行い、製品・原材料のコスト低減を検討する。  
コスト削減は、調達技術、生産技術の両面で検討する。
  - ・現場改善：人と設備のリスクについて、ITを活用した改善事例を提示した。  
IoT/AIを活用し、加工条件設定の自動化、検査の自動化と、設備の予防保全、予知保全の事例を紹介する。
  - ・テレワーク：始めに業務の見直しを行い、IT機器、ITシステムを導入する。最後に、職場の理解を醸成しテレワークに対する社内の理解を深める。

## 発表者の紹介

|           |                                                                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏名        | 前田和彦                                                                                             |
|           | 中産連 主任コンサルタント                                                                                    |
| 専門分野      | 現場改善とIoTなどのデジタル技術を活用した業務改革<br>BCP計画立案の指導                                                         |
| コンサルティング歴 | 大手総合電機メーカー、半導体メーカーで生産現場の合理化に従事<br>東日本大震災、熊本地震の復旧で生きたBCPの重要性を体感<br>アフターコロナを見据えた中小企業のDX(デジタル革命)を指導 |